

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	京北やまぐにの郷	施設種別	障害者支援施設 (旧体系：)
評価機関名	一般財団法人 社会的認証開発推進機構		

令和 2年 4月 6日

総 評	<p>京北やまぐにの郷は、昭和 58 年に始まった「京都自閉症者の施設をつくる会」の活動により、平成元年に社会福祉法人京都杉の木会を設置主体として開設されました。本事業所は、清らかな上桂川、緑豊かな北山、のどかな田園という環境に立地しており、障害のある人の特性に合わせた適切な療育と指導を早期に行うことを目的として、生活支援や労働支援、余暇支援が行われています。</p> <p>「①自閉症をはじめとする知的障がいのある利用者に、自立度を高める支援を行うとともに、個人としての尊厳が守られる幸福な生活の場を提供する。②利用者の個々のニーズに対応した多様な支援ができるよう、創意工夫に努める。③利用者の人権を擁護する意識を高める。」という事業所理念から、「自閉症を一人でも多くの人に理解してもらい、この障害に苦しむ利用者と家族の手助けをしていきたい」という支援者側としての強い思いが読み取れます。</p> <p>また、2019年度の事業計画の中には、「1. 法令の遵守、2. サービスの質の向上、3. 人材の確保と職員の資質向上、4. 利用者の重度化・高齢化への対応、5. 利用者の権利擁護への取り組み、6. 地域貢献と社会参加」など、理念を具現化するための方針が課題分析をもとに掲げられています。</p> <p>施設は築30年を経過し、開設当初からの利用者にとっても不便な面が出てきていますが、その状況に対応するための様々な面での工夫がされています。例えば、開設当初は食堂で全員が食事をしていた部屋を仕切り、障害特性に応じた小単位のグループで食事・休憩も取れるようにするなど、職員も見守りやすく、利用者が安心でき、安全に繋がる取り組みをされています。また、利用者の特性に合わせてトイレの手洗いから直接水を飲めないようにアクリルのカバーを付けるなどの工夫を随所に見受けられました。</p> <p>作業活動においては、利用者のアート活動を活かした質の高い製品づくりを利用者と職員で一緒に行うなど、利用者の障害特性や個性に応じた様々な工夫・配慮がなされています。地域貢献や社会参加の面では、利用者が京北ふるさとまつり等の地域のイベントに参加しやすいように、職員が積極的に協力するなどの環境づくりを行うと共に、事業所施設の一つである地域交流ホームを、地域の人々や近隣のNPOなどに無料で開放されています。</p> <p>しかし、障害のある利用者の高齢化に伴い、作業内容、施設設備の見直し、今後の施設の移転や建替えの必要性など、多くの課題があることも認識されています。また、人材面においても、通勤の不自由さなどから職員の確保が困難という課題に直面しています。</p> <p>今回、本第三者評価の受診に際しては、自己評価への取り組みの段階から組織全体として適切に現状を分析し、自己評価に取り組んでいただいた状況を聞き取ることができました。</p> <p>今後、経営環境の把握や適切な経営、中長期ビジョンに基づく具体的な計画の推進を図る中で、課題や取り組む過程、共有の状況などを文書化され、事業所のホームページでも掲げられている基本方針「利用者にと</p>
-----	--

	<p>っても職員にとってもさらに生きがいを持てる『共感』『共汗』の場となることを期待しています。</p>
<p>特に良かった点(※)</p>	<p>Ⅲ－２－（３）福祉サービス実施の記録が適切に行われている 支援記録はすべての職員が情報共有ソフトにて作成し保存され、いつでもどの部屋からでも記録、閲覧できるようになっています。また、記録に基づく職員会議の議事録とは別に、職員会議予備録として詳細を記したものを作成して、利用者へのきめ細かいサービスの提供に繋がっていると評価することができます。</p> <p>Ⅱ－４－（３）施設の機能の地域への還元について 施設に隣接する地域交流ホームを見学させていただきましたが、トランポリンや卓球、和室２部屋、ステージなどの設備などがあり、地域の方々に日々開放されており、利用者の方と共に地域の方も参加して音楽療法を行ったり、福祉団体の活動の場として提供されるなどの取り組みをされており、顕著な取り組みとして確認することができます。</p> <p>A－２－（６）健康管理・医療的な支援 起床時の検温だけでなく、利用者がグループごとに集う部屋、作業室にも通常の体温計に合わせて赤外線式体温計を配備することで、障害特性に配慮しつつ、少しの体調変化にも対応できるよう、利用者の日々の健康管理に気を配られている状況を見受けることができます。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p>1－４－（１）福祉サービスの質の向上に向けた取り組みについて 現場における日々の取り組みは適切に実施されているものと見受けられますが、自己評価、第三者評価を行うための準備を含めた計画的な実施体制、結果の分析、検討に至る組織的な体制の構築に課題が見受けられます。今後は、評価に対する分析結果や取り組むべき課題を文書により明確にして、各種会議で出された改善策や改善計画を議事録などに残し、さらに職員とも共有されるなど、組織的な体制の構築に期待します。</p> <p>Ⅱ－１－（１）管理者の責任が明確にされている 管理者の職務は文書化されていますが、職員への周知方法に一定の課題が見受けられます。また「不在時の権限委任」も明確化されていません。管理者の職務と各ブロックの長の職務を明確にし、組織の機能がさらに効率的に発揮されるよう見直しを行い、また災害時などの権限委任については特に明確にしておくことで、利用者の安心・安全を確保していく事が重要です。</p> <p>Ⅲ－１－（５）安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取り組みが行われている ヒヤリハットレポートや事故報告書の整備状況は確認できますが、それに対するマニュアルが整備されておらず、管理者と職員全員で安全確保・事故防止に対するマニュアルの策定に向けた検討が求められます。今後マニュアルを整備して入居者の安全確保と事故防止により一層努められることを期待します。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念、基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	B	B
[自由記述欄]					
I-1-(1)①理念や基本方針は明文化され、職員に対しては理念に基づく職員心得を配布し、保護者に対しては保護者会総会にて周知できていることを聞き取れたが、本人への周知が十分であるとまでは言えない事を聞き取った。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 法人として事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	B	B
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	B	A
[自由記述欄]					
1-2-(1)①経営状況の把握、分析については、行政や福祉事務所との連携や外部研修に参加する他、外部委託による経営指導により状況把握を行っているがデータが中・長期計画や事業計画に反映が確認できなかった。 1-2-(1)②経営課題の周知が不十分であるとの認識をされていたが、「理事会議事録」「職員会議議事録」で課題の共有化及び周知が図られていることを確認し、現に給与体系の見直し等も検討されていることから、自己評価はBであったがA評価とした。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 法人として中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	C	C
		5	② 中・長期のビジョンを踏まえた単年度の計画が策定されている。	C	C
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	B	A
		7	② 事業計画は、障害のある本人等に周知され、理解を促している。	C	A
[自由記述欄]					
1-3-(1)①中長期的なビジョンや計画の重要性は認識されているものの、利用者の高齢化の課題にどう対応するかなど、ビジョンを明確にするに至っていない。 1-3-(1)②中長期のビジョン及び計画が策定されていない。 1-3-(2)①事業計画については月1回開かれる職員会議等で出された課題などを積みあげ、年度末には職員全体の参画のもと達成度や目標値とのギャップ等を議論し、評価・見直しが行われていることを「職員会議議事録」で確認できたため、自己評価はBであったがA評価とした。 1-3-(2)②事業計画の障害のある本人等への周知・理解については、全員が理解できているとは言えないものの、計画内のサービスの内容や変更・地域とのイベントや施設の改修計画等障害のある本人にとって重要な内容を、絵を使って表現するなど、障害の特性に応じた工夫が随所に見られたため、自己評価はCであったがA評価とした。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	C	C
		9	② 評価結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	C	C
[自由記述欄]					
1-4-(1)①②福祉サービスの質の向上に向けた取組については、日々取り組まれているものの、自己評価及び第三者評価の計画的な実施、結果の分析、検討の組織的な体制ができていない。 また、前回の第三者評価の改善点を受けて部署会議で検討されマニュアルが作成されたことは聞き取れたが、課題が明確に文書化し、それに基づく改善を組織的、計画的に行っているという状況を確認することはできなかった。					

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	B	C
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	B	B
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組にリーダーシップを発揮している。	B	A
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組にリーダーシップを発揮している。	C	A

[自由記述欄]

II-1-(1) ①管理者の役割と責任については、「職務分掌表」は確認できたものの、明確な役割や責任、不在時の権限委任が明示されておらず、自己評価はBであったがCとした。
 II-1-(1) ②遵守すべき法令等の理解のための具体的な取組みや、法令等をリスト化したものが確認できなかった。
 II-1-(2) ①福祉サービスの質の向上のために、管理者のリーダーシップのもと現状分析や課題の把握、改善が行われていることを施設見学での説明及び「職員会議議事録」「職員会議予備録」で確認したため、自己評価はBであったがAとした。
 II-1-(2) ②経営の改善や業務の実効性を高めるため、経営コンサルタントからの指摘をもとに人員配置や働きやすい環境整備に取り組んでいることを、施設見学での説明及び「職員会議議事録」で確認したため、自己評価はCであったがAとした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・養成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	B	B
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	B	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	B	A

[自由記述欄]

II-2-(1) ①福祉人材の確保定着に関する取組みについては、基本的な考え方や福祉人材の確保と育成に関する方針が確立されていることを「事業計画」で確認したほか、定着への取組み等は施設見学での説明や「給与規程の資格加算基準表」、「新規採用者育成体系」で確認できたが、具体的な計画が確認できなかった。
 II-2-(1) ②総合的な人事管理については、人事理念、能力開発、活用、処遇の仕組みが「事業計画」、「職員就業規則」、「給与等支給規則」、「キャリアパス基準表」で確認できたが、期待する職員像については理念・基本方針・事業計画のいずれにおいても確認できなかった。
 II-2-(2) ①働きやすい職場づくりに取り組んでいるかについては、職員の就業状況を把握し、ワークライフバランスにも配慮した職場環境づくりがなされていることを、「職員面談シート」や「年次有給休暇計画付与管理簿」により確認するとともに、互助会を利用した福利厚生の実施にも取り組んでいることが聞き取れたため、自己評価はBであったがA評価とした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・養成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	C	C
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	B	C
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	B	B
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	B	B

[自由記述欄]

II-2-(3) ①職員一人ひとりに対する育成に向けた取組みについては、目標の設定まで至っていない。
 II-2-(3) ②組織が職員に必要なとされる専門技術や専門資格は明示されているが、基本方針や計画の中に「期待する職員像」が明示されておらず、計画が見直されている状況の確認ができなかった。
 II-2-(3) ③教育・研修の機会については、職種別やテーマ別の研修は行われていることを「研修報告綴」で確認することができたが、階層別の研修が行なわれておらず、外部研修等の場に参加しやすい配慮があまりなされていない。
 II-2-(4) ①専門職種の特性に配慮したプログラムは「実習計画表(プログラム)」で確認できたが、実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢の明文化、マニュアルの整備、また指導者に対する研修が確認できなかった。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	A	B
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	A	B

[自由記述欄]

II-3-(1) ①運営の透明性確保のための情報公開については、「パンフレット京北やまぐにの郷」において、事業所での活動内容が掲載されているが、地域に向けての理念や基本方針が確認できなかったため、自己評価はAであったがB評価とした。
 II-3-(1) ②適正な経営・運営のため、会計事務所の指導を仰いでいるほか監事による内部監査を実施しているが事業に関する外部専門家のチェックは行われていないため自己評価はAであったがB評価とした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 障害のある本人と地域との交流を広げるための取組を行っている。	A	A
		24	② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	25	① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A	
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		27	② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	C	A

[自由記述欄]

II-4-(1) ①障害のある本人と地域との交流については、事業計画の中で基本的な考え方が明示されており、地域行事である「京北ふるさとまつり」や「山国魁フェスタ」等の行事に参加している等、積極的な関わりが聞き取れた。
 II-4-(1) ②ボランティアの受け入れについては、マニュアルを確認できなかった。
 II-4-(2) ①必要な社会的資源の明示と関係機関との連携については、地元の医療機関との「協力医療機関契約書」及び関係機関のリストが確認できた。
 II-4-(3) ①施設の機能を地域への還元については、地域の住民の利用できる「地域交流ホーム」を見学し、利用状況の説明を受けた。また、そこで行われている「音楽療法の実施契約書」を確認することができた。
 II-4-(3) ②地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われているかについては、社会福祉協議会、民生委員などとの連携により相談事業を行うなど、専門性を活かした事業・活動が行われていることが聞き取れたため、自己評価はCであったがA評価とした。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 本人本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 障害のある本人を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 障害のある本人を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	A	A
		29	② 障害のある本人のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	B	A
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	B	B
		31	② 福祉サービスの開始・変更にあたり障害のある本人(家族・成年後見人等含む)にわかりやすく説明している。	A	A
		32	③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

Ⅲ-1-(1) ①利用者へのサービス提供については、「事業計画」や「職員心得(行動規範)」「グループ月案」に明記され、定期的に状況の把握・評価等が行なわれていることを「職員会議予備録」で確認できた。
 ②利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供については、「個人情報保護に対する基本方針」を整備し、「重要事項説明書」を用い家族に周知していることを聞き取れたので、自己評価はBであったがA評価とした。
 Ⅲ-1-(2) ①利用希望者に対しての福祉サービスについては、「重要事項説明書」にルビを振る工夫をし、個別にわかりやすく説明をしていることを聞き取れたが、施設紹介の資料が、公共施設に置く等多くの人が入手できるようになっていないことの説明を受けた。
 ②福祉サービスの開始・変更については、利用者に対して、「重要事項説明書」を用いわかりやすく説明をしていることを聞き取り、「重要事項説明確認書」「利用者の行動制限承諾書」で利用者や家族の同意が得られていることを確認できた。③施設の変更や家庭への移行等にあたっては、福祉サービスの継続性に配慮した対応をしていることを「支援変更シート」で確認できた。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 本人本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(3) 障害のある本人のニーズの充足に努めている。	33	① 障害のある本人のニーズの充足に向けた取組及び相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A
		Ⅲ-1-(4) 障害のある本人が意見等を述べやすい体制が確保されている。	34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	A
	35		② 障害のある本人からの相談や意見に対して把握する仕組みがあり、組織的かつ迅速に対応している。	B	B
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	A	B
		37	② 感染症の予防や発生時における障害のある本人の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	A	A
		38	③ 災害時における障害のある本人の安全確保のための取組を組織的に行っている。	A	A

[自由記述欄]

Ⅲ-1-(3) ①利用者のニーズの充足に向けた取り組み及び相談や意見を述べやすい環境の整備については、「面談記録」「ケース会議/支援変更シート」にて定期的に行われていることを確認できた。
 Ⅲ-1-(4) ①苦情解決の仕組みについては、「苦情解決の体制及び手順」があり、「苦情受付表」に記録されていることと月1回発行の「郷のたより」で公表していることを確認できた。
 ②利用者の相談や意見に対しては、「福祉サービスに関する苦情解決処理規程」「相談支援事業計画書」があり、組織的かつ迅速に対応されていることを聞き取ったが、規程の定期的な見直しが行われていなかった。
 Ⅲ-1-(5) ①リスクマネジメント体制については、責任者が明確化されておらず、マニュアルも確認できなかったため、自己評価はAであったがB評価とした。
 ②感染症の予防や発生時の利用者の安全確保については、「感染性胃腸炎発生時の対応」「インフルエンザ発生時・抗ウイルス薬予防投与について初期手順」等のマニュアルを確認し、勉強会を開催していることを聞き取れた。
 ③災害時における利用者の安全確保については、「非常災害対策計画マニュアル」を確認し、土砂災害を想定した訓練も行っていることを聞き取れた。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの一定の水 準を確保するための実施方法が確 立している。	39	① 提供する福祉サービスについて一定の水準を確保するための 実施方法が文書化され福祉サービスが提供されるとともに見 直しをする仕組みが確立している。	B	B
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	40	① アセスメントに基づく個別支援計画等を適切に策定してい る。	B	A
		41	② 定期的に個別支援計画に基づく評価・見直しを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	42	① 障害のある本人に関する福祉サービス実施状況の記録が適切 に行われ、職員間で共有化されている。	A	A
43		② 障害のある本人に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	

[自由記述欄]

Ⅲ-2-(1) ①提供する福祉サービスについては、「支援課計画」「職員心得(行動規範)」を確認したが、実施方法の検証・見直しに関する時期や方法が組織で定められておらず、検討された記録も確認できなかった。

Ⅲ-2-(2) ①アセスメントに基づく個別支援計画等については、「個別支援計画 評価・計画・実施表」を確認し、利用者の一人一人の具体的なニーズが「職員会議予備録」に明示されていたため、自己評価はBであったがA評価とした。

②「個別支援計画 評価・計画・実施表」により、定期的に評価・見直しが行われていたことを確認できた。

Ⅲ-2-(3) ①利用者に関する福祉サービス実施状況については、パソコンのエクセルを使ったシステム「2019個人記録」により、職員間で共有化されていることを確認できた。

②利用者に関する記録については、「個人情報保護規程」があり、管理体制が確立されていることを確認できた。

A 障害のある本人を尊重した日常生活支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 支援の基本理念	A-1-(1) 自立支援	44	① 障害のある本人の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	B	A
	A-1-(2) 権利擁護	45	① 障害のある本人の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	A	A
	A-1-(3) ノーマライゼーションの推進	46	① 誰もが当たり前暮らせる社会の実現に向けた取組を行っている。	B	A

[自由記述欄]

A-1-(1) ① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組については、「支援変更シート」にて確認し、生活のルールについて利用者と話し合う機会を設けていることや、「人権検討委員会」を設け職員が利用者の権利について検討し理解・共有していることを聞き取れたので、自己評価はBであったがA評価とした。
 A-1-(2) ① 利用者の権利侵害防止については、「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明」があり、保護者総会でわかりやすく説明をしていることや、「人権検討委員会」を設け職員が権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っていることを聞き取れた。
 A-1-(3) ① 誰もが当たり前暮らせる社会の実現に向けた取組については、「人権検討委員会」や「個別支援」、「職員会議予備録」で一人一人への合理的配慮が具体化されていることが確認できたため、自己評価はBであったがA評価とした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 生活支援	A-2-(1) 意思の尊重とコミュニケーション	47	① 障害のある本人（子どもを含む）の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	B	A
		48	② 障害のある本人の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	B	A
		49	③ 障害のある本人の障害の状況に応じた専門的かつ多角的な視点から支援を行っている。	A	A
	A-2-(2) 日常的な生活支援及び日中活動支援	50	① 個別支援計画に基づく日常的な生活支援及び日中活動の支援を行っている。	A	A
	A-2-(3) 生活環境	51	① 障害のある本人の快適性と安心・安全に配慮した環境が確保されている。	B	A

[自由記述欄]

A-2-(1) ① 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーションについては、利用者のコミュニケーション能力を高めるためにボードコミュニケーションの機器を活用していることが聞き取れたため、自己評価はBであったがA評価とした。
 ② 利用者の意思を尊重する支援としての相談等については、障害特性に配慮しつつ、利用者が職員に話したいこと・伝えたいことを受け止める相談の場が設けられていることを聞き取れたので、自己評価はBであったがA評価とした。
 ③ 利用者の障害の状況に応じた支援については、日常の記録をパソコン上の独自のシステムにて一括して管理し職員で共有していることを確認できた。
 A-2-(2) 個別支援計画に基づく日常的な生活支援及び日中活動の支援については、パソコン上で全職員がどの部屋からでもモニタリングできるようになっており適切に個別の支援が行われていることを聞き取れた。
 A-2-(3) 利用者の快適性と安心・安全に配慮した環境については、施設見学において居室や食堂を障害の特性に応じてグループ分けする等安心・安全な場にする工夫がされていることが確認できたので、自己評価はBであったがA評価とした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 生活支援	A-2-(4) 機能訓練・生活訓練	52	① 障害のある本人の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。		
	A-2-(5) 社会生活を営むための支援	53	① 障害のある本人の希望と意向を尊重した社会生活を営む力をつけるための支援を行っている。	B	A
	A-2-(6) 健康管理・医療的な支援	54	① 障害のある本人の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	A	A
		55	② 医療的な支援について適切に提供（連携）する仕組みがある。	B	A

[自由記述欄]

A-2-(5) 利用者の希望と意向を尊重した社会生活を営む力をつけるための支援については、ドレスアップをしてレストランに食事に出かける等、利用者の希望と意向を把握し体験の機会を提供していることが聞き取れたので、自己評価はBであったがA評価とした。
 A-2-(6) ① 利用者の健康状態の把握については、「医務運営計画」があり、年2回の健康診断の結果が記録されていることを「前期・後期健康診断」で確認し、医療機関との連携・対応が適切に行われていることを聞き取れた。
 ② 医療的な支援については、「医務運営計画」に基づき実施されており、「健康診断結果報告」「内科指示伺い結果報告」により、医療的な支援（連携）があることが確認できたため、自己評価はBであったがA評価とした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 生活支援	A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	56	① 障害のある本人の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	B	A
	A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	57	① 障害のある本人の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	A	A
	A-2-(9) はたらくことや活動・生活する力への支援	58	① 障害のある本人の活動・生活する力や可能性を尊重した支援を行っている。	A	A
		59	② 障害のある本人に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	B	B

【自由記述欄】

A-2-(7) 利用者の地域生活への移行や地域生活のための支援については、地域の理髪店やお店等を利用する等の工夫がされていることから、自己評価はBであったがA評価とした。
 A-2-(8) 利用者とその家族等との支援については、連携や交流、意見交換のため月に1回のお便りや年に1回の保護者会を開くほか、ご意見箱を設ける等随時相談も受け付けていることを聞き取れた。
 A-2-(9) ①利用者の活動・生活する力や可能性を尊重した支援については、一人ひとりの「作業ファイル」を作り、個人の能力を最大限に引き出せるような支援を行っていることを聞き取れた。
 ②適切な仕事内容等についての取組と配慮については、利用者が達成感ややりがいを感じられるような作業を提供していることを聞き取れた。また賃金については「工賃支払い規程」で説明し同意を得たうえで適切に支払われていることを聞き取れたが、労働安全衛生に関するマニュアルが確認できなかった。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-3 就労支援	A-3-(1) 就労支援	60	① 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。		

【自由記述欄】

非該当